

古代アメリカ学会第 19 回研究大会・総会プログラム

主催：古代アメリカ学会
後援：名古屋大学

第一日目：12月6日(土)

11:30－ 受付開始
12:50－13:00 開会の言葉

調査速報の部(13:00-16:40)

- (1) 13:00－13:20
「ペルー北部地域の遺跡踏査：地域間ルート試論」
山本 睦(山形大学)
- (2) 13:20－13:40
「ヘケテペケ川中流域第6次調査：モスキートZ 神殿の発掘」
鶴見英成(東京大学総合研究博物館)、
カルロス・モラレス(ペルー文化省)
- (3) 13:40－14:00
「ペルー北部ワカ・パルティータ遺跡の神殿更新について」
芝田幸一郎(神戸市外国語大学)、
ビクトル・バスケス(ペルー・アルケオビオ研究所)
- (4) 14:00－14:20
「パコパンバ遺跡の儀礼的コンテキストから出土した動物骨資料：
資料形成過程の解明に果たすタフオミー分析の可能性について」
鵜澤和宏(東亜大学)、
ディアナ・アレマン(ペルー・サンマルコス大学)、
関 雄二(国立民族学博物館)

休憩 14:20－14:40

- (5) 14:40－15:00
「先コロンブス期の中間領域における祭祀メタテに関する考察
—ニカラグア共和国、コスタリカ共和国での調査から—」
植村まどか(京都外国語大学大学院博士前期課程)
- (6) 15:00－15:20
「マヤ南東地域における広域編年確立のための年代学的研究」
市川 彰(日本学術振興会特別研究員 PD・
国立民族学博物館外来研究員)
- (7) 15:20－15:40
「アパートメント・コンパウンドの測量調査概報」
福原弘識(埼玉大学)
- (8) 15:40－16:00
「メキシコ西部、サユラ、サコアルコ盆地における踏査概報」
吉田晃章(東海大学)

- (9) 16:00-16:20
「ニカラグア太平洋岸の考古学調査」
長谷川悦夫(埼玉大学)
- (10) 16:20-16:40
「ホンジュラス共和国エル・プエンテ遺跡の発掘調査と 3D スキャニング」
寺崎秀一郎(早稲田大学)

総会 17:00-18:00

第二日目:12月7日(日)

調査速報の部(09:00-09:40)

- (11) 09:00-09:20
「ワリ帝国における土器の多様性について」
渡部森哉(南山大学)
- (12) 09:20-09:40
「チャルチュアパ遺跡エル・トラピチェ地区出土石彫について」
伊藤伸幸(名古屋大学)
柴田潮音(エルサルバドル文化庁考古局)

研究発表の部(09:40-12:00)

- (13) 09:40-10:10
「アンデス形成期における黒曜石の流通と地域間交流：
カンパナユック・ルミ遺跡出土黒曜石の蛍光 X 線分析から」
松本雄一(山形大学)、
ジェイソン・ネスビット(テュレーン大学)、
マイケル・グラスコック(ミズーリ大学)、
ユリ・カベロ・パロミーノ(ペルー・サンマルコス大学)、
リチャード・バーガー(イエール大学)

休憩 10:10-10:30

- (14) 10:30-11:00
「中期ホライズン開始期の様相:情報の流れに注目して」
土井正樹(日本学術振興会特別研究員 PD・山形大学)
- (15) 11:00-11:30
「新たな古代アメリカの比較文明論の構築に向けて」
青山和夫(茨城大学)、
坂井正人(山形大学)、
米延仁志(鳴門教育大学)、
鈴木 紀(国立民族学博物館)
- (16) 11:30-12:00
「太陽と月のピラミッドに象徴される古代テオティワカンの世界観」
杉山三郎(愛知県立大学)